

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		保存緑地等事業	担当課	都市計画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成 7年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	法定＋任意
	基本事業	緑地の保全	市民協働	補助事業
予算科目コード		01-080402-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例

なぜ、この事業を実施しているのか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成5年の「守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例」の規定に基づき、健康で明るく住み良い市民生活の確保に寄与し、また、貴重な資源である緑を後世に残すために、保存緑地等の所有者に対して助成を行う。	保存樹木所有者への助成を、樹木1本当たり5,000円/年（58本）行う。 保存緑地所有者への助成を、500㎡以上2,000㎡未満の所有者等に対しては10,000円/年（対象106人）、2,000㎡以上5,000㎡未満の所有者等に対しては15,000円/年（対象66人）、5,000㎡以上の所有者等に対しては20,000円/年（対象31人）行う。全体の保存緑地指定面積は約78.1haである。 愛宕谷津については、借地料が1㎡当たり5円/年（対象者6人）で対象面積は約12haを予定している。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
「守谷市緑の保全と緑化の推進に関する条例」に基づき、所有者等の協力を得て保存緑地及び保存樹木を指定することにより、緑豊かな自然環境を形成している緑地等を保全し、地域の美観、風致を維持することができる。 また、愛宕谷津一帯は緑の拠点と位置付けられており、借地することにより恒久的に保全していく。	
（参考）基本事業の目指す姿	
緑が確保されたうるおいある景観を維持するため、市民・行政の協働により緑を保全する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
・ 保存緑地及び保存樹木について引続き地権者の協力を得て，緑を確保することが必要である。 ・ 愛宕谷津一帯については，自然環境を保全するため，地権者の理解を得ながら更なる借地契約を行う必要がある。	【愛宕谷津】 通年：土地所有者訪問（説明，契約交渉） 【保存樹木】 4月から：指定樹木の選定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・ 愛宕谷津一帯について，未契約地権者に理解を求め借地契約を行う ・ 保存樹木の指定基準の改善を実施する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■ 増加 □ 維持 □ 削減	愛宕谷津は新たな守谷の観光スポットとして注目されており，今後も継続して保全が必要である。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
事務の効率化を図るため、「保存緑地等指定助成事業」と「保存緑地緑地取得事業」を統合した。	保存緑地・保存樹木についての指定については、現状を維持することが目標であったが、保存樹木については、今年度、八坂神社のケヤキ（2本）が枯死し、伐倒となったため指定解除となった。 なお、保存緑地以外の愛宕谷津については、2人の地権者、4筆3,539㎡の新たに賃貸借契約を締結した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
保存緑地指定面積（㎡）	780,757.00	780,757.00	780,757.00	780,757.00	780,757.00
保存樹木指定面積（本）	61.00	59.00	59.00	59.00	59.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	保存緑地及び保存樹木については、平成23年に市内全域を対象として、10年間の指定を行ったため維持に努める。 また、愛宕谷津の借地契約未契約者については、引き続き、借地契約を進めた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	保存緑地及び保存樹木については維持に努める。また、愛宕谷津の保全に向け賃貸借契約の拡大を図り、緑の拠点としての恒久的な保全を図る。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	3,386	3,396	3,423	14,264	14,264
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	3,396	3,423	8,063	8,063
	一般財源	3,386	0	0	6,201	6,201
正職員人工数（時間数）		216.00	305.00	338.00	0.00	0.00
正職員人件費		886	1,273	1,387	0	0
トータルコスト		4,272	4,669	4,810	14,264	14,264